



## BS11開局15周年特別番組

アートミステリー

## 『国立西洋美術館誕生秘話』

～モネを救え～

3月21日(火・祝)より7時03分より放送

この度、日本BS放送株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 近藤 和行、以下「BS11」)は、3月21日(火・祝)より7時03分より、BS11開局15周年特別番組『アートミステリー 国立西洋美術館誕生秘話 ～モネを救え～』を放送いたします。

数奇な運命をたどった名画の軌跡と、これらのコレクションの収蔵のために建設された国立西洋美術館の誕生に秘められたミステリーに迫ります。

モネを口説いた男「松方幸次郎」とは？戦火によって疎開した2つのモネの名画の明暗と、日本とフランス、それぞれの国の威信をかけた返還交渉の行方は？是非ご期待ください。



「クロード・モネ《睡蓮》 1916年 油彩、カンヴァス 国立西洋美術館 松方コレクション」

アートミステリー  
国立西洋美術館誕生秘話  
モネを救え！

©川崎重工業株式会社

【放送日時】 3月21日(火・祝)より7時03分～8時30分

【出演者】 本仮屋ユイカ(ナビゲーター)



山本兼平(ナレーター)

番組特設HP <https://www.bs11.jp/feature/mone-sukue/>

★特別年表、本仮屋ユイカさんスペシャルインタビュー 公開中～

【本BS11ニュースに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社 視聴者センター TEL：03-3518-1877



## 【見どころ】

『日本人に最高の絵をみせてやりたい。』壮大な夢を持ち、そのロマンに人生をかけた一人の男、実業家・松方幸次郎。莫大な資金を投じロンドン・パリなどで、モネの「睡蓮」やゴッホの名画などを収集、その数は1万点を超えるとも言われています。しかし、時代は世界的な金融恐慌、そして第二次世界大戦の戦火に見舞われ、これらの名画もほとんどが消失してしまうことに。そんな中、フランスに残された名画はナチスの侵略から逃れるため、ある男が命がけてパリから疎開させ守り通しました。また、終戦後は、敵国財産としてフランスに留め置かれた名画を、寄贈返還という形で日本に返還を果たした外交官たちの苦労もありました。時代を超え、現代まで受け継がれる“松方のロマン”に迫ります。



※左より、  
フランク・ブラングイン《松方幸次郎の肖像》1916年 油彩、カンヴァス 国立西洋美術館 旧松方コレクション、  
エドゥアール・マネ《嵐の海》1873年 油彩、カンヴァス 国立西洋美術館 旧松方コレクション、  
ピエール＝オーギュスト・ルノワール《アルジェリア風のパリの女たち（ハーレム）》1895年 油彩、カンヴァス 国立西洋美術館 松方コレクション

<東京・上野 国立西洋美術館>

©国立西洋美術館

## ●本仮屋ユイカさんからのメッセージ



絵は予備知識がなくてもその当時の永遠を一瞬にして私たちにを見せてくれるものですよね。でもその背景にあるエピソードや、そこにどんなドラマがあるのか知っている方がより親しみを持って、楽しんで絵を観ることができると思うので、この番組がそのきっかけになれば、とても嬉しいです。

絵を観ていると、この絵は長い旅を経て、今、この目の前にいるんだな、絵に足が付いているんじゃないだろうか、と錯覚してしまうような、奇跡をすごく感じるんです。

一堂に揃った絵を観られるチャンスはもしかしたら今だけかもしれませんし、皆さんがその絵の前にいること自体が奇跡なんだと思います。絵もそうですし、一つ一つの出会いの先にどれだけのミステリーとヒストリーがあったのかということに対して、改めて思いを馳せることのできる番組だと思います。

春の上野はすごく素敵なので、ぜひこの『国立西洋美術館誕生秘話』をご覧ください、国立西洋美術館に足を運んでみてください。



BS11は、質の高い情報を提供することで、人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します。

【本BS11ニュースに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社 視聴者センター TEL：03-3518-1877

